



全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が、文部科学省より公表されました。本調査は、国語科・算数科のテストと共に、家庭での過ごし方や学習時間を問う意識調査も実施しています。今年度については、理科のテストも実施しています。本校の6年生の結果についてお知らせします。

**総合結果(国語科・算数科・理科・質問紙)**

本校の平均点は国語科、算数科、理科、いずれも全国平均を上回っています。どの教科も低学年からの基礎基本の積み重ねが重要であることが結果として現れました。また、質問紙からは日々の生活から幸せを感じられていることがわかりました。以下、分析した内容を掲載します。

国語科

平均点は全国平均をやや上回っています。漢字を書いたり、正しい言葉に直したりすることは特に良好な結果となりました。しかし、複数の情報から読み取ったり、考えたりする内容については課題が見られました。

○複数の内容を結びつけて読む

**問題** 小森さんは、インタビューをどのように進めようと考えて——部の発言をしましたか。

- 1 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、(正答率47.6%)  
聞きたいことを相手から引き出そうとしている。
- 2 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、  
相手が答えやすい内容を選ぶようにしている。
- 3 複数の質問を関連づけて聞くことで、  
相手が答えやすい内容を選ぶようにしている。
- 4 複数の質問を関連づけて聞くことで、  
聞きたいことを相手から引き出そうとしている。

この問題では、「仕事で大切にしていること」と「仕事で大変なこと」の複数の質問をしますが、「話してくれたことをきっかけに」と言っているように、双方を関連づけながら聞きたいことを相手から引き出そうとする質問となっています。

インタビューをする学習は、低学年から様々な教科で取り組んでいます。関連づけた質問をしたり、相手の回答から質問をつないだり変えたりして、聞きたいことを相手から引き出すことが大切です。今後もインタビューを通した学習の際には、相手の回答を意識して取り組めるようにしていきます。

1 小森さんの学級では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューすることになりました。バスの運転士に興味のある小森さんたちは、インタビューで質問することを話し合っています。次の「話し合いの様子」と「話し合いの記録」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

「話し合いの様子」

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを聞きたいな。さっと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだね。

小森さん 確かに、大変そうだね。「仕事で大切にしていること」で話してくれたことをきっかけにして、「仕事で大変なこと」を聞くことができるかもしれないよ。

清川さん バスの運転士は、楽しそうだなと思っていただけ、大変なこともあるんだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん さっと仕事にやりがいがあるからだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることやりにいっ

小森さん うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめよう。この進め方でいいかな。

「話し合いの記録」

働くこと (バスの運転士)

大切にしていること | やりがい

予想

安全を守る | 時間を守る

大変なこと → 大変なのに続ける理由

**問題** 【話し合いの内容】の **A** に当てはまる内容として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。(正答率47.6%)

(1) 話し合いの様子

1 「資料1」の部①

2 「資料1」の部②

3 「資料1」の部③

4 「資料1」の部④

「雨模様」の意味のとらえ方

(%)

世代	15-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
変化したと思う人	50.4	43.5	53.7	53.9	61.9	52.6	46.2
変わっていないと思う人	31.8	42.7	36.1	33.4	26.1	33.6	39.8

文化庁『令和4年度国語に関する世論調査』による。

【資料1】

言葉は、年月とともに変化していくものです。かつて規範的であった言葉の形や意味が、現代においては通用しなくなったり、使われる言葉が変わっていきたりする場合があります。これは短絡的ともいえるでしょう。①この本を読むとお気づきになると思いますが、文化庁国語課では、言葉の意味について「正しい」「誤り」といった判断をせず、代わりに、②「本来の意味」「本来とは違う使い方」といった言い方にとどめていきます。言葉の正誤を厳しく決めることはできないと考えられています。

③「言葉は生きている」とも言われます。その広がりや深さにも、触れていただきたいと考えています。

(文化庁国語課「文化庁国語課の動き」より)

三 木村さんは、言葉の変化について田中さんと話し合いながら、「資料1」を読み返しています。次の「話し合いの様子」をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【資料2】

「ぼくが読んだ二つの資料(資料2・資料3)には、言葉が変化していることが書かれています。『資料1』に『言葉の正誤を厳しく決めることはできない』と書かれていることにつながっているよ。」

【資料4】

私は、この資料(資料4)を見つけたよ。これを見ると、世代によって、「雨模様」の意味のとらえ方がいかに分かっていくのよ。

本当だ。三十代から六十代は本来の意味とはちがう「小雨が降ったりやんだりしている様子」ととらえている人の割合が高いね。

こんなふうに、人によって言葉の意味のとらえ方がちがうと、伝え合うときに困ると思うよ。だから「資料1」に「A」と書かれているとおもうよ。

この問題では、4つの資料があり、問題のポイントとなっている【資料4】には図表もあります。必要な情報を見つけるためには、文章の要旨を捉えた上で、図表などが文章のどの部分と結びつくのかを明らかにしながら、必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりすることが重要です。必要な情報かどうかを確かめたり、情報と情報がどのような関係にあるのかを考えたりしながら読むことができるよう、引き続き学習の場面で問いかけていきます。

## 算数科

平均点は全国平均をやや上回っています。計算や文章問題の理解も概ねできており、算数に関しては複数の資料も読み分けて答えを求めることができていました。

一方で、分数の概念が十分に理解できていないという課題が見られました。

### ○分数の概念を明確にとらえる。

**問題**  $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  について、もとにする数を同じ数にする時、その数は何になりますか、その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$  はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$  はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。(正答率21.4%)

その前の問題で、0.4+0.05におけるもとにする数を求める問題があり、これは正答率83.3%とよくできて

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  についてまとめています。

みおり

$\frac{2}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の2個分、 $\frac{1}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の1個分です。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  の計算は、 $\frac{1}{5}$  をもとにすると、2+1を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  は、もとにする数を  $\frac{1}{5}$  にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  について考えています。

ひろと

$\frac{3}{4}$  は  $\frac{1}{4}$  の3個分、 $\frac{2}{3}$  は  $\frac{1}{3}$  の2個分です。

もとにする数が  $\frac{1}{4}$  と  $\frac{1}{3}$  でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

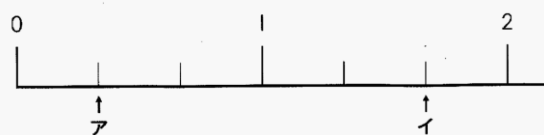
もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$  はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$  はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

いました。また、この問題の例として  $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  におけるもとにする数が  $\frac{1}{5}$  であると説明があります。そこから、通分をして分母をそろえた時の分数がもとにする数 ( $\frac{1}{12}$ ) となります。通分をすることまでは理解しているのですが、「もとにする数」という言葉が何を指し示しているかがわからず、「 $\frac{1}{12}$  が9個分・8個分」という解答ができなかったように思われます。

**問題** 次の数直線のア・イのメモリが表す数を分数で書きましょう。(正答率19.0%)

分数は「1を等しく分けたものがいくつ分あるか」ということが基本です。したがって、この数直線ではアは  $\frac{1}{3}$  となります。しかし、数直線を見て、6つに分けられていると思い、アを  $\frac{1}{6}$ 、イを  $\frac{5}{6}$  という誤答が見られました。

(3) 次の数直線のア、イのメモリが表す数を分数で書きましょう。



前出の問題同様「何を基本単位として捉えているか」という分数の概念が明確にとらえられていないようです。一方で、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$  の計算問題 ( $\frac{5}{6}$ ) では、高い正答率となっていました。計算のスキルは身につけていますが、分数がどのような数であるかを知識として理解することが大切です。

## 理科

平均点は全国平均を上回っています。どの教科でも同様ですが、学習はこれまでに積み上げてきた学習の上に成り立ちます。基本となる知識は6年生になる頃には膨大なものとなりますが、内容を整理しつつ、必要に応じて活用する力が大切となります。

### ○確かな知識を身につける

**問題** アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の1から4までの中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。(正答率7.1%)

いずれも金属であるため、電気を通すのですが、いずれかの解答に「電気を通さない」を選んだ児童が多くいました。「電気で明かりをつけよう」「じしゃくのふしぎ」とも3年生の学習内容ではありますが、どの学年でも頻出される基礎知識です。金属全般が電気を通すこと、鉄だけが磁石に引きつけられることをそれぞれの性質として確実に理解することが大切です。

(1) アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の1から4までの中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

- 1 電気を通し、磁石に引きつけられる。
- 2 電気を通し、磁石に引きつけられない。
- 3 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
- 4 電気を通さず、磁石に引きつけられない。

○日々の授業で「学習問題」を設定し、解決する学習にする。

**問題** てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけました。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。  
(正答率33.3%)

水・空気・適温以外の日光、肥料がなしの条件であるため、日光または肥料を選ぶことはできています。しかし新たな【問題】を見つけるということは、その「条件」だけでなく、疑問を示す趣旨で記述する必要があります。

実験の際に【問題】【予想】【方法】【条件】といった過程があります。【問題】の欄には「ヘチマの種子は、どのような条件で発芽するのだろうか」と書いてあり、このような形式で【問題】

を書くことが求められています。多くの教科で、児童が疑問に感じたことを【学習問題】という言葉で設定して学習活動を進めています。自分で疑問に思ったことを明文化し、その解決に向けた学習を進めることが大切です。また、教職員も「問題解決型学習」の授業展開をさらに取り組む必要があると感じています。

児童質問紙

本校は、朝食、睡眠等の「健康に生活しようとする事」について、肯定的な回答が全国平均よりも高い傾向でした。また、PC、タブレットで文章作成、情報の収集・整理、内容の発信・共有、個別最適な活用等の「ICT機器の活用」も、肯定的な回答が全国平均よりも高い傾向でした。将来の夢や目標、地域や社会への貢献などの「将来展望」も高い傾向となり、未来に向かって走り出している児童の姿が感じられました。

そして、「学校に行くのは楽しいですか」という質問については、全員が肯定的な回答となりました。「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」という質問でも、ほとんどが肯定的な回答となりました。今年度、『楽しい』KISSをみんなの力で」を合言葉に取り組んでいます。最高学年の6年生が、楽しい学校づくりを先導していたことがアンケート結果からも見られました。

一方で、「自分にはよいところがある」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」について、肯定的な回答が全国平均よりも低い傾向にありました。また「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問においても、若干低い傾向にありました。自分のよいところを自分で気づき、それに自信をもつことはなかなか難しいことです。周りの大人が子ども一人一人の良さに気づき、積極的に声をかけることで自信につながっていきます。同時に信頼関係も増し、困ったときに相談できる人として、さらに子どもをよりよい方向に導けるようになります。学校でも、子どもの良さを認め、さらに高めていけるようにしていきます。

たかひろさんたちは、インゲンマメの発芽の条件について調べたことを思い出し、次のように、ヘチマの発芽について調べることにしました。

**【問題】**ヘチマの種子は、どのような条件で発芽するのだろうか。

**【予想】**インゲンマメの種子と同じように、水、空気、適した温度（室温）といった条件で発芽すると思う。

**【方法①】**水が必要か調べる。

（条件）	しめせた だっし鉢	かわいた だっし鉢
・水あり	・水なし	・水なし
・空気あり（種子が空気にふれている）	・空気あり（種子が空気にふれている）	・空気あり（種子が空気にふれている）
・温度（室温）	・温度（室温）	・温度（室温）
・日光なし（箱をかぶせている）	・日光なし（箱をかぶせている）	・日光なし（箱をかぶせている）
・肥料なし	・肥料なし	・肥料なし

**【方法②】**空気が必要か調べる。

（条件）	しめせた だっし鉢	水
・水あり	・水あり	・水あり
・空気あり（種子が空気にふれている）	・空気なし（種子が空気にふれていない）	・空気なし（種子が空気にふれていない）
・温度（室温）	・温度（室温）	・温度（室温）
・日光なし（箱をかぶせている）	・日光なし（箱をかぶせている）	・日光なし（箱をかぶせている）
・肥料なし	・肥料なし	・肥料なし

**【方法③】**適した温度（室温）が必要か調べる。

ケ	コ

たかひろさんたちは、レタスの種子を発芽させようとしています。

レタスの種子を発芽させようと思って、水、空気、温度の条件を下のようにしたのに、1つも発芽しなかったよ。

**たかひろさんが行った実験**

（条件）
・水あり
・空気あり（種子が空気にふれている）
・温度（室温）
・日光なし（箱をかぶせている）
・肥料なし

水、空気、温度のほかにも、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるのかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、上の（条件）の中から1つ選んで調べてみたい。

（4）てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけました。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。